

南小だより さわやかなあいさつ・きれいな学校

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

10月の生活目標

やさしい子

『時間を守って行動しよう。』

たくましい子

平成26年9月30日

第7号

川崎市立高階南小学校

安全な生活のために～子どもたちの命を守る。～

また、残念な事件が起ってしまいました。被害に遭った神戸の小1女子児童、そして、ご家族や友人関係者のご心痛を思うと、いたたまれない気持ちになります。今はただ、ご冥福を祈るばかりです。

登下校の子どもたちの安全を考えると、心配の種は尽きません。保護者の皆さんや安全支援ボランティアの皆さんによる毎朝の見守りがいかに心強いことか。

交通安全、不審者対応などたくさん大人の目があることで、子どもたちの安心感は大きく高まります。先日も、下校途中の児童が転んだ際に、近くにいた安全支援ボランティアの方が、擦りむいたヒザ小僧に、いつも持ち歩いている消毒液でそっと消毒し、絆創膏を貼ってくださいました。「大丈夫かい?」「ありがとうございます。」優しい会話に心が温まる思いでした。本当に頭が下がります。

毎日の登下校指導や保護者・地域の皆さんの見守り活動の積み重ねが必ず子どもたちの安全につながることを信じて、これからも地道な活動を続けていきたいと思えます。

どんなに注意してもいつ事件に巻き込まれるかは誰にも分かりません。特に、放課後は大人の目が届きにくいものです。そのような中、私たちにできることは、安全のための最善の努力を怠らないということです。例えば、

1 誰とどこへ遊びに行くか、何時ごろ帰るかを伝える。

2 仲の良い友達の家へお邪魔するときは相手の保護者の同意を得る。安易に家に泊めたり泊まったりすることは控える。

3 不審者に近付かない。見知らぬ人から絶対に物をもらわない。特に、危ない目に遭った際は、必ず直ちに110番通報し、警察の協力を求める。

安全な生活のため、大人が、子どもたちにしっかりと指導をする。使い古された言葉ですが、文字通り、保護者・地域・学校の連携が肝要だと思えます。



下校時の見守り活動

道徳 = 現代の正義を考える。久利生検事の苦悩と活躍

文部科学省とタイアップしたTV番組『HERO』。誰に対しても公正・公平な態度で接し、自らの信念に基づいて行動する。真実を見極め、社会正義を追求しようとする久利生公平と、それを支える仲間たち。その姿には、「人としてどうあるべきか。自分はどう生きるべきか。」という道徳教育の根源的なテーマと共通するものがありました。教科化に向け議論が進んでいる道徳。ドラマが現代の正義を子どもたちと共に考えるきっかけとなった家庭もあることでしょう。「人としての生き方、現代の正義」を考える機会は様々な生活の場面にもあります。

全国学力・学習状況調査(6年生)結果と課題

算数A、Bでそれぞれ全国平均正答率を上回る好結果で、国語Aは全国を下回り、同Bでは全国平均と同成績を得ることができました。それぞれ課題はありますが、努力の結果が数値に表れています。質問紙調査では、「地域行事に参加、話し合い活動、授業の振り返り」で全国の数値を上回り、「夢を抱く、家庭学習、テレビ・DVD・ゲームなどの時間」等で課題が見られました。数値に現れるのは学力の一部ですが、今回明らかになった課題解決に向け、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立ててまいります。

特に、学習における基礎基本の定着のためのねらいを明確にした授業の実施、家庭学習の充実を目指しためりはある生活の確立、将来に対する期待と現実の生活を結び付け、夢の実現に向けた努力を継続すること等を様々な場面で指導してまいります。併せて、家庭・地域との連携を更に深め、本校に在籍したことを誇りに感じるような学校作りを推進してまいります。



4年生体育 逆上がり



5年生家庭科 調理実習



6年生国語科 百人一首